

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 国際拠点港湾 広島港 大黄地区船溜まり整備に伴う測量調査業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	No. 1		調査位置	広島県広島市南区似島町大黄地区			北緯	34° 18' 18.4292"							
発注機関	広島県広島港湾振興事務所				調査期間	令和01年12月05日～令和01年12月12日			東経	132° 26' 20.9498"					
調査業者名				主任技師			現場代理人			コーア鑑定者					
ボーリング責任者															
孔口標高	T.P. -6.08 m		角			方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配			使用機種	D1-B48(東邦地下)		
総削孔長	7.00 m		度			エンジン	NFD-13(ヤンマー)		ポンプ	BG-3C					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	地盤材料の工学的分類	色調	相対稠度	相対密度	記述	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験番号	採取方法	室内試験	削孔月日	
										N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数								50回の貫入量
1	-6.78	0.70	粘土質機混り砂		暗灰			海底面を覆う粗砂。へドロ状の細粒分が混ざりルーズな土相である。		0.0	0	0	0	0	700	P-1	-	物理		
2			機混り砂		暗青灰	非常に緩い、密な		粗砂。全体に0.5mm以下の細砂を含む。細粒分は少ない。		0.8	0.70 1.15	700	1	1		P-2	-	物理		
3										0.9	1.55 2.15	400	1	1		P-3	-	物理		
4	-9.83	3.75								6.0	2.48 3.15	330	2	2	6	P-4	-	物理		
5			風化花崗岩		褐灰	密な、非常に密な		基盤である花崗岩の風化帯。岩構造を明確に残すも、芯部まで風化が進み、土砂化が著しい。下層部に従い、密になる傾向が顕著である。		40.0	3.45 4.15	300	9	14	17	40				
6										65.2	5.15 5.38	230	18	25	7	50	230			
7	-13.08	7.00								78.9	6.15 6.34	190	24	26	30	50	190			
8										93.8	7.15 7.31	160	26	24	60	50	160			